

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、管理スクリプトに設定されているコール制御変数がルート スクリプトで参照されない理由について説明します。このドキュメントでは、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) 環境の管理スクリプトとルート スクリプト間でデータを共有する方法についても説明します。

前提条件

要件

Cisco は ICM スクリプト エディタのナレッジがあることを推奨します。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報はすべての ICM バージョンに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

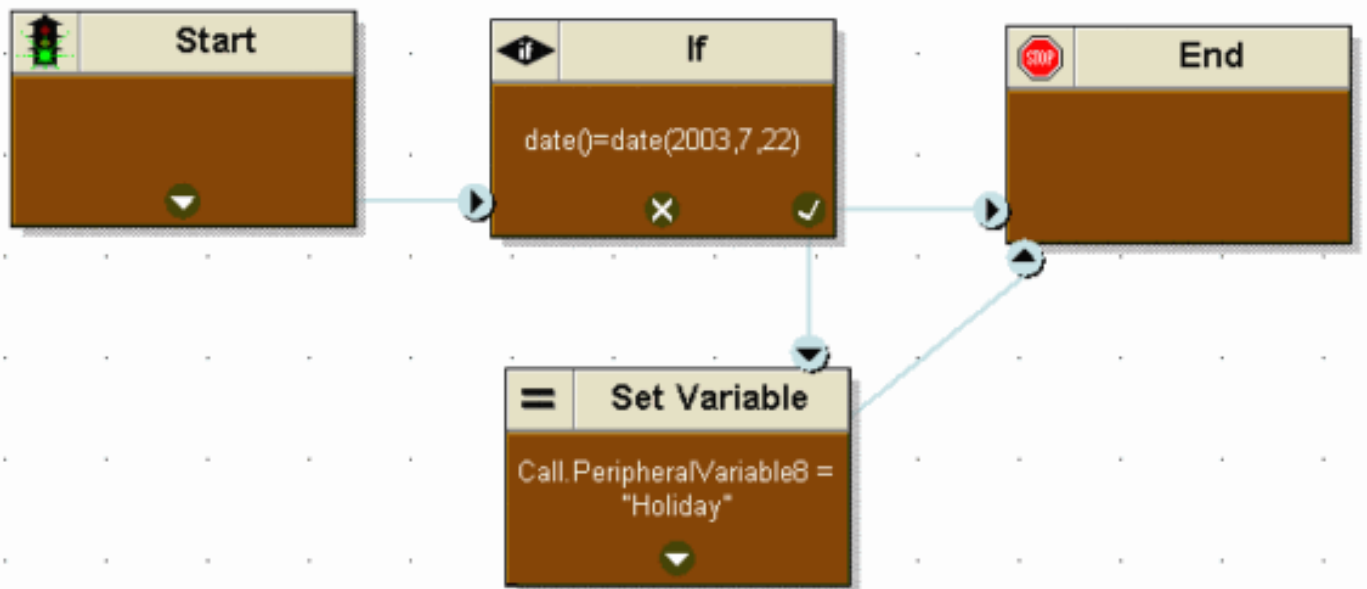
ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

Set Variable ノードはいくつかのコール変数の値を設定します。スクリプトでコール制御 変数を参照する構文は次のとおりです:

この場合の値に管理上のスクリプトおよびセット `Call.PeripheralVariable8` 実行すれば、すべてのルート スクリプトは値にアクセスしません。 [図 1](#) 例を提供します。

図 1 か。 コール制御 変数を設定 する管理上のスクリプト



解決策

管理上のスクリプトはの値に正常に `Call.PeripheraVariable8` 設定 します。ただし、制御 変数は管理上のスクリプトとルート スクリプトの間で共有することができません。

変数は管理上のスクリプトとルートの間で渡るためにグローバル なユーザー定義変数のスクリプトを書きましたり、使用します。グローバル なユーザー定義変数によって、各ユーザー定義変数はなりません:

- から始まる名前を持って下さい
- オブジェクト タイプと、たとえば、サービス関連付けられて下さいこれはそのの各オブジェクトのための変数の例を維持することを ICM ソフトウェアが打ち込みますシステムを可能にします。
- 耐久性があるまたは nonpersistent である変数として識別されて下さい耐久性がある変数は CallRouter 再起動を渡る値を保ちます。nonpersistent 変数は CallRouter 再起動を渡る値を保ちません。

注ユーザー定義変数は 40 文字までの値を保存できます。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)